

第26期末（2024年3月18日）

基準価額	13,674円
純資産総額	32億円
騰落率	9.7%
分配金	1,200円

ニッセイ 次世代医療ファンド

追加型投信／内外／株式

運用報告書（全体版）

作成対象期間：2023年9月20日～2024年3月18日

第26期（決算日 2024年3月18日）

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ次世代医療ファンド」は、このたび第26期の決算を行いました。

当ファンドは、主に日本を含む各国の「医療関連企業」の株式へ投資を行い、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2023年9月20日～2024年3月18日

基準価額等の推移



第26期首	13,560円	既払分配金	1,200円
第26期末	13,674円	騰落率(分配金再投資ベース)	9.7%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・12月上旬から1月上旬にかけて、インフレの落ち着きなどから欧米中央銀行による金融政策の方向転換に対する期待感を背景とした米長期金利の低下に加えて、米国における手術件数の増加トレンドが好感されたことや有望な開発薬を持つバイオテクノロジー企業に対する買収が活発化し株価が上昇したこと
- ・市場予想を大幅に上回る肥満症治療薬の売上動向と抗肥満症治療薬への期待感から保有銘柄の株価が上昇したこと
- ・投資家のリスク選好姿勢や日銀の金融緩和継続姿勢を受けて、期を通じて見るとおおむね円安が進行したこと

<下落要因>

- ・10月中旬から下旬にかけて、米金融引き締め長期化への懸念等を受けた米長期金利の上昇や中東情勢の緊迫化、さらに抗肥満薬による潜在的な手術等の患者減少に対する警戒感から医療機器関連の銘柄や中国の反腐敗運動を背景とした受注減少によりライフサイエンス関連の銘柄を中心に株価が下落したこと

1 万口当たりの費用明細

項目	第26期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	125円	0.908%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は13,780円です。
(投信会社)	(60)	(0.435)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(60)	(0.435)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(5)	(0.038)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	2	0.012	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(2)	(0.012)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(0)	(0.000)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	2	0.013	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.009)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.004)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	129	0.933	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

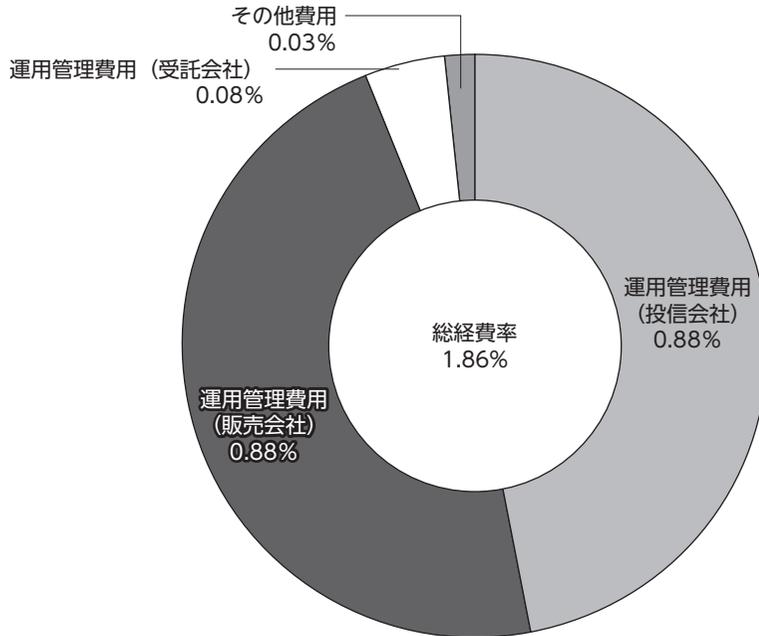
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.86%**です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

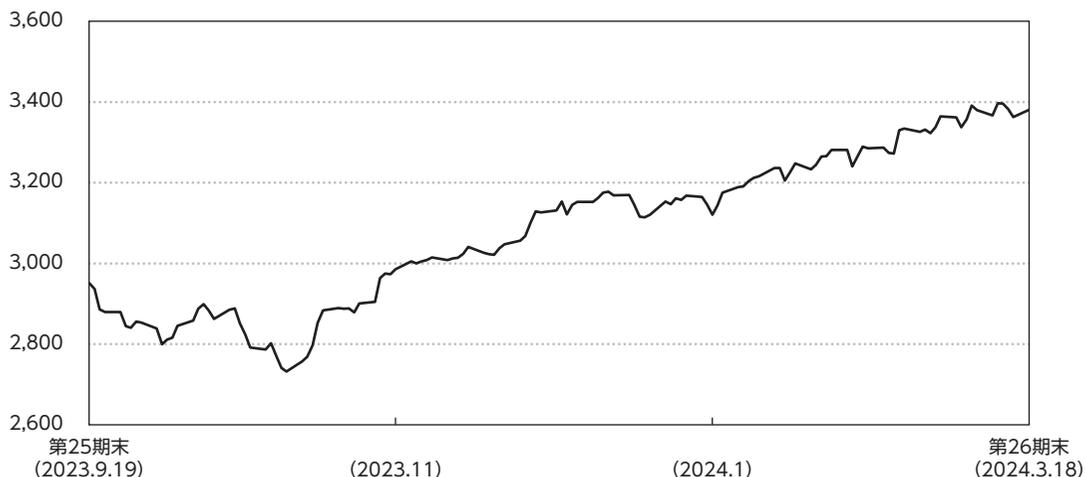
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

株式市況

【MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックスの推移】



(注) ブルームバーグのデータを使用しています。

株式市場は期を通じて見ると上昇しました。

期初以降、米政府機関閉鎖への懸念や全米自動車労働組合（UAW）によるストライキなどの金利上昇要因が複数顕在化し、米金融引き締め長期化への懸念と相まって米長期金利の上昇が懸念され株価は下落する展開となりました。加えて、中東情勢の緊迫化等も嫌気され株価は一時大きく下落しました。11月に入るとインフレの落ち着きなどから欧米中央銀行による金融政策の方向転換に対する期待感を背景とした米長期金利の低下から株価は持ち直す展開となりました。特に米大手半導体企業における生成人工知能（AI）の需要拡大による好業績発表などを受けて半導体関連銘柄が市場をけん引したことや、金利高が嫌気されていた不動産セクターなどを中心に買い戻しと見られる動きが鮮明となりました。当期末にかけては、生成AI関連へのさらなる需要拡大期待や業績動向を手がかりにした世界的な大型株への物色の動きなどから株価は上げ幅を広げ当期末を迎えました。

ポートフォリオ

主に日本を含む各国の「医療関連企業」の株式へ投資を行い、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

<個別銘柄>

「新薬開発」関連銘柄については、今後大きく売り上げを伸ばすことが見込まれる研究開発パイプライン（研究開始から承認・発売にいたるまでの開発品）を持つ企業や、アルツハイマーや抗肥満薬のようにジェネリック医薬品（注）の製造が困難な医薬品開発で高い競争力を持つ企業、またオーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）に力を入れている企業に注目しています。引き続き相対的に株価の割安感があり、新薬が業績に反映する良好なサイクルの初期段階であると判断し、最も比率の高い分野となっています。

「医療インフラ」関連銘柄については、医療の革新・進化を支える企業が多く、医療サービスの変化を背景にIT（情報技術）の進化を活用して革新的なサービスを提供できる企業や、付加価値の高い製品を持ち、シェア拡大が期待できる企業を中心に保有しています。

「動物用医薬品」関連銘柄については、ペット需要の拡大等もあり動物の健康被害抑制を目的とした医薬品市場の拡大から恩恵を享受できる企業を中心に保有しています。

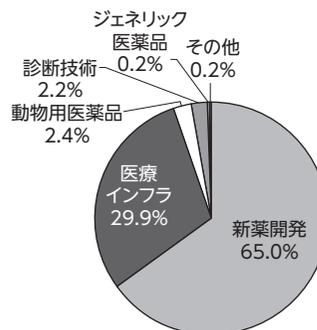
「診断技術」関連銘柄については、医療技術の進展に注力し、医療支出抑制や個々に合致した治療の促進を目的とした個別化医療の進展で恩恵を受ける企業を中心に保有しています。

（注）製薬会社が開発した医薬品の特許切れに伴い、有効成分や効能・効果などが同じものとして新たに製造・販売される安価な医薬品（後発医薬品）。

<成長分野別>

当期末時点では、組入比率の高い順に右グラフの通りとなっています。

【成長分野別組入状況】



（注1）比率は対組入株式等評価額比です。

（注2）成長分野は、当ファンドの運用方針に基づきニッセイアセットマネジメントが独自に分類したものです。

ベンチマークとの差異

当ファンドは、日本を含む各国の「医療関連企業」の中から、世界の医療関連ビジネス拡大の恩恵を受け、今後、利益成長が期待できる銘柄に投資を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2023年9月20日～2024年3月18日
当期分配金（税引前）	1,200円
対基準価額比率	8.07%
当期の収益	1,200円
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,674円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

当ファンドは、主に日本を含む各国の「医療関連企業」の株式へ投資を行い、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

当ファンドが投資対象とする「医療関連企業」は、激しい景気変動や先進各国の財政問題が拡大する環境下でも良好な業績を示し、先行き不透明な環境を乗り越えてきました。「画期的医薬品治療薬」の承認は増加しており、臨床試験実施申請資料受領の長期増加トレンドも継続していることから、今後もこのようなイノベーション（技術革新）にけん引された新製品の販売などにより、医療業界のファンダメンタルズ（基礎的条件）が強固で良好な流れは継続すると見込んでいます。特に、製薬会社はAI技術を活用して医薬品開発の成功確率向上を推進できるとともに、創薬プロセスの時間やコストの大幅短縮により効率化と革新が期待できると見込んでいます。AI技術の活用で明確な戦略を有する「医療関連企業」の収益は着実に増加することが見込まれるため、株式市場の上昇時において魅力ある「医療関連企業」は株価上昇が期待されます。

基本的な「医療」関連市場の成長シナリオは、経済成長が著しい新興国が豊かになるにつれ、所得上昇と高齢化を通じて市場が拡大していくという見方に変更はありません。また先進国においても、財政悪化による医療の質的転換がさらに進むと考えられ、新しい医療技術や薬品・医療ビジネスが誕生していることから、その投資機会の豊富さに変わりはないと考えています。

今後も、これまで通り成長テーマを持つ世界中の企業への取材を行い、その中から収益の拡大が見込まれ、株価上昇が期待できる「医療産業」関連銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築していく方針です。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

■ 上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
NOVO-NORDISK A/S	デンマーク・クローネ	9.0%
ELI LILLY & CO	米ドル	8.9
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	米ドル	7.2
JOHNSON & JOHNSON	米ドル	6.9
UNITEDHEALTH GROUP INC	米ドル	6.3
MERCK & CO INC	米ドル	5.9
ABBVIE INC	米ドル	5.0
INTUITIVE SURGICAL INC	米ドル	4.0
NOVARTIS AG	スイス・フラン	3.4
ABBOTT LABORATORIES	米ドル	3.3
組入銘柄数		30

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

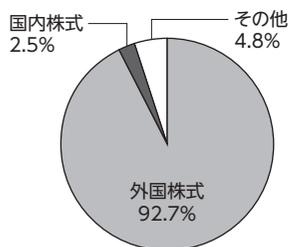
(注2) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

■ 純資産等

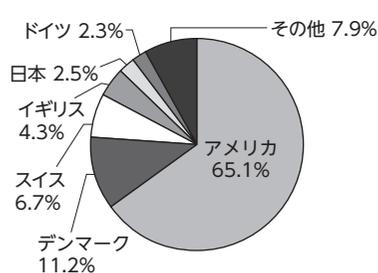
項目	第26期末 2024年3月18日
純資産総額	3,292,866,676円
受益権総口数	2,408,043,190口
1万口当たり基準価額	13,674円

(注) 当期間中における追加設定元本額は155,294,988円、同解除元本額は352,059,690円です。

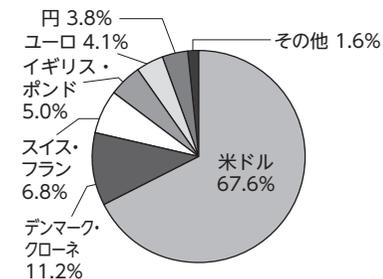
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、2024年3月18日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	株式 組入比率	純資産 総額
22期(2022年 3月17日)	13,162	700	8.4	27,262	95.9	2,748
23期(2022年 9月20日)	13,525	1,100	11.1	28,725	95.3	3,678
24期(2023年 3月17日)	12,369	700	△ 3.4	28,269	94.1	3,527
25期(2023年 9月19日)	13,560	1,100	18.5	30,560	97.0	3,532
26期(2024年 3月18日)	13,674	1,200	9.7	31,874	95.2	3,292

(注1) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額(分配落)に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	株式 組入比率
(期首)2023年 9月19日	13,560	—	97.0
9月末	13,474	△ 0.6	93.3
10月末	12,884	△ 5.0	92.9
11月末	13,208	△ 2.6	94.6
12月末	13,192	△ 2.7	96.6
2024年 1月末	14,229	4.9	97.6
2月末	14,996	10.6	95.4
(期末)2024年 3月18日	14,874	9.7	95.2

(注) 期末基準価額は分配金(税引前)込み、騰落率は期首比です。

売買および取引の状況

2023年9月20日～2024年3月18日

株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
国内	上場	千株 -	千円 -	千株 3	千円 11,115
	アメリカ	百株 -	千米ドル -	百株 139	千米ドル 2,588
外国		(6)			
	オーストラリア	-	千オーストラリア・ドル -	2	千オーストラリア・ドル 63
	イギリス	-	千イギリス・ポンド -	36	千イギリス・ポンド 104
	スイス	-	千スイス・フラン -	16	千スイス・フラン 190
		(17)			
	デンマーク	-	千デンマーク・クローネ -	82	千デンマーク・クローネ 6,867
	ユ ー ロ		千ユーロ -		千ユーロ -
フランス	-	-	5	50	
ドイツ	-	-	7	65	

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は株式分割、合併などによる増減分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 地域は発行通貨によって区分しています。以下同じです。

(注4) 株数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	623,218千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,347,603千円
(c) 売買高比率(a)/(b)	0.18

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 外国株式の(a)は各月末（決算日の属する月については決算日）、(b)は各月末の国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注3) 単位未満は切り捨てています。

主要な売買銘柄

2023年9月20日～2024年3月18日

株式

銘柄	買付			売付			
	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
—	—	—	—	NOVO-NORDISK A/S	7	139,768	17,882
				ELI LILLY & CO	1	128,677	104,108
				THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	0.376	32,222	85,697
				JOHNSON & JOHNSON	1	32,086	24,089
				UNITEDHEALTH GROUP INC	0.391	29,201	74,683
				MERCK & CO INC	1	26,378	17,932
				ABBVIE INC	0.859	22,156	25,793
				INTUITIVE SURGICAL INC	0.311	17,416	56,001
				NOVARTIS AG	1	16,102	15,161
				ROCHE HOLDING AG	0.364	15,309	42,057

(注1) 金額は受渡代金で、外国株式は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 株数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

利害関係人との取引状況等

2023年9月20日～2024年3月18日

当期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2024年3月18日現在

(1) 国内株式
上場株式

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
医薬品(100.0%)			
ロート製薬	30	26	81,950
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	30 1	26 1 <2.5%>

(注1) 銘柄欄の()内は、当期末における国内株式の評価総額に対する各業種の比率です。

(注2) 合計欄の< >内は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 株数および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

(2) 外国株式

銘柄	期首(前期末)	当期末				業種等
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
ABBOTT LABORATORIES	70	62	717	107,160	ヘルスケア機器・サービス	
ABBVIE INC	70	62	1,103	164,705	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
AMGEN INC	25	22	605	90,412	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	106	93	488	72,886	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
DANAHER CORP	18	16	413	61,781	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ELI LILLY & CO	38	26	1,968	293,919	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
GILEAD SCIENCES INC	50	44	324	48,480	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
INTUITIVE SURGICAL INC	25	22	889	132,783	ヘルスケア機器・サービス	
JOHNSON & JOHNSON	109	96	1,521	227,218	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
MEDTRONIC PLC	63	55	464	69,393	ヘルスケア機器・サービス	
MERCK & CO INC	121	106	1,291	192,885	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
PFIZER INC	272	239	668	99,886	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
REGENERON PHARMACEUTICALS	4	3	362	54,149	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	30	27	1,587	236,991	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
UNITEDHEALTH GROUP INC	32	28	1,388	207,261	ヘルスケア機器・サービス	
VERALTO CORP	-	5	47	7,129	商業・専門サービス	
ZOETIS INC	33	29	511	76,428	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,073 16	941 17	14,354 -	2,143,474 <65.1%>	

ニッセイ次世代医療ファンド

銘柄	期首(前期末)	当期末			業種等	
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(オーストラリア) CSL LIMITED	百株 18	百株 16	千オーストラリア・ドル 453	千円 44,463	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	18 1	16 1	453 -	44,463 <1.4%>	
(香港) CHINA ANIMAL HEALTHCARE LTD	7,110	7,110	千香港ドル 0.711	13	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	7,110 1	7,110 1	0.711 -	13 <0.0%>	
(イギリス) ASTRAZENECA PLC GSK PLC	42 254	36 223	千イギリス・ポンド 380 369	72,396 70,182	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	296 2	260 2	749 -	142,579 <4.3%>	
(スイス) NOVARTIS AG ROCHE HOLDING AG SANDOZ GROUP AG	87 29 -	76 26 15	千スイス・フラン 656 607 43	110,944 102,616 7,318	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	117 2	118 3	1,307 -	220,879 <6.7%>	
(デンマーク) COLOPLAST-B NOVO-NORDISK A/S	39 228	34 150	千デンマーク・クローネ 3,233 13,608	70,488 296,672	ヘルスケア機器・サービス 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	267 2	184 2	16,842 -	367,160 <11.2%>	
(ユーロ/フランス) SANOFI	45	40	千ユーロ 352	57,386	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	45 1	40 1	352 -	57,386 <1.7%>	
(ユーロ/ドイツ) BAYER AG MERCK KGAA	36 28	31 24	83 385	13,631 62,731	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	64 2	56 2	469 -	76,363 <2.3%>	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	109 3	96 3	822 -	133,750 <4.1%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	8,994 27	8,727 29	- -	3,052,321 <92.7%>	

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額の< >内は、当期末の純資産総額に対する株式評価額の比率です。

(注3) 株数および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

(注4) 業種はGICS分類(産業グループ)によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

投資信託財産の構成

2024年3月18日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	3,134,272	86.7
コール・ローン等、その他	481,350	13.3
投資信託財産総額	3,615,622	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお3月18日における邦貨換算レートは、1米ドル149.32円、1オーストラリア・ドル97.95円、1香港ドル19.09円、1イギリス・ポンド190.13円、1スイス・フラン168.99円、1デンマーク・クローネ21.80円、100韓国ウォン11.23円、1ユーロ162.58円です。

(注2) 外貨建純資産（3,167,408千円）の投資信託財産総額（3,615,622千円）に対する比率は87.6%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイ次世代医療ファンド

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年3月18日現在)

項目	当期末
(A) 資産	3,615,622,811円
コール・ローン等	473,877,397
株式(評価額)	3,134,272,375
未収配当金	7,473,039
(B) 負債	322,756,135
未払収益分配金	288,965,182
未払解約金	1,493,764
未払信託報酬	32,145,063
その他未払費用	152,126
(C) 純資産総額(A-B)	3,292,866,676
元本	2,408,043,190
次期繰越損益金	884,823,486
(D) 受益権総口数	2,408,043,190口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,674円

(注) 期首元本額	2,604,807,892円
期中追加設定元本額	155,294,988円
期中一部解約元本額	352,059,690円

損益の状況

当期 (2023年9月20日~2024年3月18日)

項目	当期
(A) 配当等収益	31,658,123円
受取配当金	30,996,606
受取利息	540,723
その他収益金	138,967
支払利息	△ 18,173
(B) 有価証券売買損益	317,393,342
売買益	445,379,698
売買損	△ 127,986,356
(C) 信託報酬等	△ 32,608,132
(D) 当期損益金(A+B+C)	316,443,333
(E) 前期繰越損益金	224,584,012
(分配準備積立金)	(224,584,012)
(F) 追加信託差損益金*	632,761,323
(配当等相当額)	(591,923,033)
(売買損益相当額)	(40,838,290)
(G) 合計(D+E+F)	1,173,788,668
(H) 収益分配金	△ 288,965,182
次期繰越損益金(G+H)	884,823,486
追加信託差損益金	632,761,323
(配当等相当額)	(591,923,033)
(売買損益相当額)	(40,838,290)
分配準備積立金	252,062,163

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。
- (注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。
- (注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	28,700,565円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	287,742,768円
(c) 信託約款に定める収益調整金	632,761,323円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	224,584,012円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	1,173,788,668円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	4,874.45円
(g) 分配金	288,965,182円
(h) 分配金 (1万口当たり)	1,200円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2011年3月18日～2026年3月17日
運用方針	主に日本を含む各国の「医療関連企業」の株式へ投資を行い、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。
主要運用対象	日本を含む各国の株式
運用方法	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。